

募金活動へのご協力お願い

—四年制大学設置に向けて その3—

四年制大学設置委員会

四年制大学設置事業の経緯については学報第40号で、キャンパス候補地決定については学報第41号で、それぞれ報告した。今回は、四年制大学設置資金造成のための募金活動について報告する。

校舎建築費、用地整備費、機器・備品費、初年度経常経費等に35億円の資金が必要であり、その内10億円を募金によって造成しなければならない。県内6大学の学長、キリスト教界・経済団体・金融・マスコミ・教育団体・婦人団体等の代表者、地方自治体の組織する団体の代表者、平素より本学院のために色々ご尽力くださっている県内外の有識者・経営者の方々に募金賛同者をお願いしたところ、全員が快く引き受けて下さった。ほぼ全員の方々に直接お会いして四年制大学設置の趣旨と募金の趣意をご説明することができた。温かいご支援と力強い励まし

の言葉を得て、いよいよ四年制大学設置に向けて邁進する決意を新たにしました。

ご賛同の方々との話し合いの中で、最も嬉しかったことは本短大卒業生の評判の良さである。どの企業でも卒業生が活躍しており、本学院の評価を高めている。卒業生ひとりひとりが本学院の宝であることを実感した。

趣意書の印刷とともに、募金活動もいよいよ本格化する。一期生で、本学院の理事でもあるオリオンビール株式会社副社長の瀬嵩政一郎氏を通して、同社より6千個の募金缶をご寄贈いただいた。テレホンカードの販売、イベント、チャリティー・ショー、バザーの開催、キリ短グッズの販売等、さまざまな募金活動も行うが何よりもキリ短の卒業生の皆様のご協力を切に御願ひ申し上げたい。次の世代のために沖縄に優れた大学を建設することほど大切なことはない。10億円の資金の造成を実現することは至難の業である。本学院の教職員・理事・評議員が全力を尽くすことは勿論であるが、7700名に上る卒業生の皆様の協力がこの募金の鍵になる。どうぞよろしく御願ひ申し上げる次第である。

賛同者氏名一覧

- | | | |
|---------------------------|---------------------------|------------------------------|
| 赤嶺千壽(沖縄県婦人連合会会長) | 久保田照子(沖縄観光コンベンションビューロー顧問) | 比嘉盛二郎(沖縄キリスト教協議会議長) |
| 東江康治(名桜大学学長) | 小磯一夫(沖縄テレビ放送社長) | 比嘉善栄(沖縄県私立教育振興会理事長) |
| 安谷屋良子(沖縄県教育委員会元委員長) | 幸喜徳子((財)沖縄県国際交流財団専務理事) | 比嘉敬(琉球朝日放送株式会社社長) |
| 阿部公正(沖縄県立芸術大学学長) | 小島誠志(日本基督教団総会議長) | 比嘉正秀(沖縄県農業協同組合中央会会長) |
| 阿部志郎(横須賀基督教社会館館長) | 湖城英知(沖縄海邦銀行頭取) | 比嘉良雄(沖縄セラー電話株式会社社長) |
| 新川秀清(中部広域市町村圏事務組合理事長) | 斎藤美津子(国際基督教大学名誉教授) | 福地孝(沖縄女子短期大学学長) |
| 新崎盛善(沖縄銀行頭取) | 崎間晃(沖縄県商工会議所連合会会長) | 藤田忠(国際基督教大学名誉教授) |
| 糸嶺トヨ子(糸嶺商会会長) | 隅谷三喜男(日本学士院第一部部長・東大名誉教授) | 船本弘毅(関西学院大学宗教部総主事) |
| 稲福全一(稲福眼科医院長) | 田頭政佐(特定医療法人華の会理事長) | 古屋安雄(国際基督教大学名誉教授) |
| 稲嶺盛保(ジミー株式会社社長) | 田崎邦男(医療法人社団輔仁会理事長) | 平敷令治(沖縄国際大学学長) |
| 後宮俊夫(敬和学園理事長) | 玉城善徳(沖縄県私立保育園連盟会長) | 前田伊都子(本学院名誉教授 在米国) |
| 宇良宗真(大同火災海上保険株式会社社長) | 知名洋二(沖縄県経営者協会会長) | 松島寛容(国際ロータリー第2580地区(スガ)ガ(ネー) |
| 大城公男(沖縄県高校長会会長) | 知念榮治(株式会社りゅうせき社長) | 松田定雄(日本基督教団沖縄教区正教師/本学院元教授) |
| 大森泰夫(沖縄YMCA理事長・本学院元理事長) | 津波保光(沖縄県商工会連合会会長) | 松本行雄(琉球銀行頭取) |
| 親泊康晴(沖縄県市長会会長) | 照屋寛善(琉球大学名誉教授) | 源武二(沖縄県高等学校PTA連合会会長) |
| 海江田綱重(海江田病院院長) | 豊平良一(沖縄タイムス社長) | 宮城義明(株式会社リウエン商事社長) |
| 桂幸昭(琉球大学学長) | 仲井真弘多(沖縄電力株式会社社長) | 宮里昭也(琉球新報社長) |
| 兼城賢徳(具志川市助役) | 仲田弘毅(沖縄県PTA連合会会長) | 森田恒勝(株式会社オークス社長) |
| 亀川栄一(亀川栄一法律事務所所長・本学院元理事長) | 仲本景美(具志川市市長) | 森田實(ライオンズクラブ協議会337-D地区ガ(ネー) |
| 狩俣真彦(沖縄大学学長) | 長濱文子(那覇商工会議所婦人会会長) | 吉村昇(日本保育協会沖縄支部長) |
| 岸本金三(琉球放送株式会社社長) | 新島正子(沖縄調理師専門学校校長) | 吉山盛安(沖縄県中小企業団体中央会会長) |
| 金城名輝(沖縄県工業連合会会長) | 春名康範(日本基督教団宣教委員長) | |
| 国吉守(沖縄県私立幼稚園連合会理事長) | 比嘉茂政(沖縄県町村会会長) | |

(五十音順/敬称略)



沖縄キリスト教短期大学

学報 第42号

1997年7月25日発行

沖縄県西原町字翁長777

TEL(098)946-1240

FAX(098)946-1241

発行/学長 原喜美

編集/事務局企画課

創立40周年記念特集号

去る4月6日午後3時から、本学チャペルにおいて、創立40周年記念式典が挙行された。『今過ぎし年を顧み将来を展望する時、先ず深い感謝と悔改めの心をもって、過去の歴史から学びたいと存じます』と原喜美学長は述べた。

式典に引き続き、高嶺豊氏による特別講演会が行われた(5ページへ掲載)。その後、会場を体育館へ移し祝賀会が催された。卒業生をはじめ多くの関係者のご出席をいただき、終始和やかな一日となった。

平良修氏へ名誉教授称号記授与

永年本学に在職され、第2代学長として10年間キリスト教主義の高等教育機関としての基礎を築かれた。

下記の方々に感謝状を贈呈

- ▲仲里 朝章
初代理事長並びに学長の重責を担われ、深い祈りをもって本学の創設発展のために生命を捧げられた。
- ▲瀬底 正一
理事長として献身的に本学発展のために多大な貢献をなされた。
- ▲比嘉 善雄
理事長として献身的に本学発展のために多大な貢献をなされた。
- ▲小橋川 寛
創立以来理事として又教授として本学の教育の基礎を築かれた。
- ▲名城 嗣明
創立以来本学の教育に深い関心を寄せられ熱心に学生の指導に当たられた。
- ▲大森 泰夫
理事長として献身的に本学発展のために多大な貢献をなされた。
- ▲亀川 栄一
理事長として献身的に本学発展のために多大な貢献をなされた。
- ▲松田 定雄
創立以来永年にわたり本学のキリスト教主義教育の基礎を築かれた。
- ▲山城 朝健
理事として後援会会長として本学の教育の発展のために貢献された。
- ▲稲福 全一
永年にわたり本学の理事としてその発展のために貢献をなされた。
- ▲比嘉 良夫
創設期より長期にわたり教鞭をとられ、多くの教え子に深い感銘を与えられた。
- ▲渡真利源吉
創設期より長期にわたり教鞭をとられ、多くの教え子に深い感銘を与えられた。
- ▲伊波盛次郎
本学の教育理念に賛同され、特に「本学にパイプ・オルガンを贈る運動」を推進された。

(敬称略)



平和の島実現を キリ短大創立40周年で確認

沖縄キリスト教短期大学の創立40周年記念式典が6日午後、西原町翁長の同校チャペルで開かれた。歴代の学長や理事長のほか卒業生、県内大学の学長、キリスト教教会関係者、後援者が多数出席。戦争で荒廃した郷土の復興を願った建学の理念「国際的平和の島の実現」を確認し、国際性豊かな人材育成、三年後の四年制大学設置へ向け発展を誓った。

キリ短大は一九五七年、沖縄キリスト教団が首里教会内に沖縄キリスト教学院として創設。現在、七千七百余人の卒業生がいる。今月九日で満四十年。比嘉國郎理事長は式辞で「当初は入学生二十五人と小さく、職員も即学即退の寄付に回るなど苦難な道のりだった」と述べ、二十一世紀に向け平和を願

い国際社会で通用する人材育成の目的を掲げた。式典は讃美歌を演奏と合唱で生演奏する豊かな雰囲気。「学院への功労者」へ感謝状が贈られたほか、初代学長の故仲里朝章氏らの名前を冠したチャペルや図書館の命名を披露、ほか発展に尽力した故人を追悼した。記念講演では十五期生で国連の障害者問題専門官の高嶺豊さん(「こが」アジア太平洋地域の一員として)と題し講演した。

▲「1997年4月7日/沖縄タイムス」より

創立40周年記念式典にご出席、ご協力賜りありがとうございました。紙面をもって改めてお礼申し上げます。(順不同/敬称略)

出席者

阿波根 弘子 玉城 節子 城間 仁 仲里 佐代子
 安座間 喜正 玉村 八重子 新垣 加代子 長嶺 忠
 安次富 順子 金城 トミ子 新垣 慶子 長嶺 峰子
 阿波根 弘子 金城 喜忠 新城 香 田崎 邦男
 伊佐 直美 金城 久江 新川 右好 渡真利 望
 伊佐 弥生 金城 信一郎 真喜志 康則 島袋 国子
 伊舎堂 守雄 古波津 信孝 真喜志 叔子 島袋 須美子
 伊波 盛次郎 古波津 美津子 石川 ルナ子 島田 いそ子
 伊礼 多輝 吳屋 定子 石川 綾子 藤山 和恵
 稲福 全一 高江洲 園恵 石川 一子 比嘉 幹郎
 稲嶺 さおり 高江洲 麻澄 石川 善英 比嘉 京子
 羽地 洋子 高里 鈴代 石川 奈々子 比嘉 盛久
 横田 久乃 高良 桂子 前里 光信 百名 加奈江
 王 麗霞 高嶺 久仁子 大井 學 平田 三枝子
 岡崎 晋 国吉 洋子 大山 伸子 平田 勉
 屋宜 藤江 佐藤 萬義 大城 のぞみ 平良 園子
 下門 しの 砂辺 広美 大城 雪乃 平良 和子
 前城 邦子 山城 朝建 大城 満子 米盛 徳市
 荷川取 優子 山本 幸代 大森 節子 芳澤 弘和
 外間 康之 山野 悦子 谷口 まゆみ 芳澤 江美子
 外間 久子 山里 勝一 知花 真康 豊山 かの子
 喜名 洋子 山里 将之 知念 一郎 又吉 京子
 亀川 栄一 洲鎌 孝子 池原 光子 名城 和子
 宮国 明子 小橋川 久光 中原 俊明 銘苅 真由美
 宮城 ありさ 小澤 久美 中原 祥子 友寄 加奈恵
 宮城 久子 松田 定雄 中村 よね 有銘 宏司
 宮城 妙子 照屋 光雄 中村 節子 与那城 勇
 宮城 好子 照屋 洋子 仲真 文子 和宇慶 弘子
 玉城 郷子 上原 恵 仲真 良哲 グレイ恵子
 玉城 宏彦 上原 明子 仲盛 夫美子 與儀 千代子
 玉城 弘子 上地 雅広 仲村 恵子 與儀 利香
 玉城 松男 上地 武雄 仲里 朝治 鶴平名 光枝

出席者(企業団体関係)

オークス 森山 恒勝 沖縄県女性政策室 新垣 幸子
 ナンセイ保険 野崎 真吉 沖縄県立図書館 吉川 安一
 ヤナセ沖縄 大山 哲 沖縄国際大学(学長) 平敷 令治
 沖縄ココロ 石川 元義 沖縄女子短期大学(学長) 福地 孝
 沖縄伊藤園 城谷 昌孝 元山 和仁
 沖縄海邦銀行 照屋 正雄 平得 慶子
 沖縄不二ホテル 下山 桂一 久野 眞智子
 屋部土建 崎濱 茂 仲本 正真
 加島事務機 国吉 泰房 仲田 勝男
 沖繩アビー副音センター 玉那覇 正信
 沖繩キリスト教センター 平良 修
 沖繩ナショナル建材 池原 清子
 海銀リース 金城 郁夫
 宮城 一市
 金城 貴絵
 伊是名 雄二
 玉城 友行
 松浦 重男
 幸地 秀子
 大城 英男
 仲本 景美
 兼城 賢徳
 照屋 義正
 渡真利 文三
 渡真利 淳子
 中元 薫子
 上野 浩司
 野口 静子
 城間 緑
 佐久本 眞智子
 松島 寛容
 望月 智
 名城 政一郎
 村瀬 昌宏
 山田 怜子
 當山 武
 レイチェル コウエル
 翁長 正貞
 比嘉 盛二郎
 大城 元臣
 偶道 信道
 新城 榮弘
 神里 重盛
 大城 安隆

出席者(企業団体関係)

那覇東急ホテル 平川 先二 野村證券 那覇支店 後藤 公一
 那覇バプテスト教会 国吉 守 久高 友美
 日産火災海上保険 沖繩支店 酒井 良征 琉球銀行 坂田支店 宮城 保茂
 日本航空 団体予約センター 森 陽子 琉球大学(学長) 桂 幸昭
 沖繩天久神の教会 折田 政博 琉球大学 比嘉 良充
 日本聖公会沖繩教区 仲村 賢明 友愛園 大森 泰夫
 日本総合整美 柳迫 公史 アウルズ言語学院 John Dickson, O
 エンゼル保育園 佐和田 幸子
 日本洋書販売 沖繩支店 与儀 憲助 佐和田 敦子
 名護教会 知念 芳子 グッピー保育園 大城 久美子
 名桜大学 瀬名波 榮喜 メガニュートロピア協会 永井 淳裕
 上江洲 基

祝電

沖縄県知事 大田 昌秀 東南植物楽園 大林 千乃
 沖縄県副知事 東門 美津子 東洋コンクリート 喜友名 朝弘
 ジャパンクロス 知念 常光 桃山学院大学 福別 正晴
 シオン幼稚園 関根 サク 那覇西ロータリークラブ 名幸 俊海
 横浜英和学院 松包 一夫 日本基督教団 小島 誠志
 沖繩コロニー 山城 永盛 日本私学振興財団 戸田 修三
 沖縄県議会議員 嘉数 昇明 日本私立大学協会 高橋 重義
 沖縄県教育委員会 安室 肇 日本私立短期大学協会 佐久間 彌
 沖縄県公安委員会 比嘉 國郎 日本聾話学校 安積 力也
 沖縄県社会福祉協議会 崎間 晃 日本アジア航空 沖繩支店 演田 陽太郎
 沖縄県心身障害児会 運天 政一 波上宮 未安 大孝
 沖縄県人材育成財団 仲里 長和 梅花学園 中本 三省
 沖縄県 花城 可長 梅光女学院 山田 宏
 沖縄県立芸術大学(学長) 阿部 公正 福岡女学院短期大学 中山 憲次
 沖繩大学(学長) 狩俣 真彦 平和学園 伊藤 虎丸
 沖繩日産グループ 仲井間 宗仁 北星学園 永澤 悟
 嘉数女子学園 新垣 雄久 名護市銀のすず保育園 宮城 幸
 大庭学園 大庭 正男 ハリスオンザヒル 沖繩 漢那 憲二
 桃山学院 川勝 堅二 ルネッサンスリゾートオキナワ 元山 松彦
 活水学院 米倉 邦彦 沖繩調理師専門学校 新島 正子
 関西学院 船本 弘毅 本学非常勤講師 安次富 順子
 関西学院大学 今田 寛 本学元非常勤講師 中山 一
 金秀グループ 吳屋 秀信 沖繩クイティセンター 藤岡 俊彦
 金城学院 渡邊 よしちか 沖縄県立芸術大学 比嘉 美代子
 国際システム 松下電工 沖繩三越 佐藤 清
 国際旅行社 オリオンビール 三善建設 古波津 健
 尚生堂 デルタ電気工業 山梨英和学院 矢崎 園
 大城組 トヨタカラー沖繩 糸満市農業協同組合 新垣 兼一
 白水堂 マジムのうた トムテ 全国保母養成協議会 清水 司
 サービスクリエーション 沖繩ツリスト 尚絅女学院 長峯 英雄
 糸嶺商会 沖繩月星 昭和薬科大学附属高等学校 比嘉 定俊
 環設計 沖繩調理師専門学校 豊見城中央病院 松永 希久夫

新聞広告の協賛企業団体

ジミー 金城印刷 沖繩ゼロックス
 プロスタッフ 建築研究室 DIG and PILE 宮古島東急リゾート
 沖繩ココロ 昭和レジデンス 金秀建設
 沖繩科学AVセンター 仲光堂 金城設備設計事務所
 沖繩不二ホテル 西原球陽堂 具志川市役所
 加島事務機 榕樹書林 国際デジタル通信 沖繩営業所
 紀伊國屋書店 AU 沖繩支店 三協電気工事
 球建設 Stageing Okinawa 尚学院
 共和オートガススタンド MARUZEN 沖繩尚学高等学校
 国際システム しらかわ内科 松下電工
 国際旅行社 オリオンビール 西原町役場
 尚生堂 デルタ電気工業 大地事務用品店
 大城組 トヨタカラー沖繩 島ピアノセンター
 白水堂 マジムのうた トムテ 日本総合整美
 サービスクリエーション 沖繩ツリスト 文教楽器
 糸嶺商会 沖繩月星 豊見城中央病院



式典の祝花、祝賀会の飲物を提供して下さい感謝申し上げます。
 吳屋定子、国際システム、大城建設、沖繩タイムス社、琉球新報社、
 瀬崎政一郎、オリオンビール、日本総合整美、ペブシコーラ、ココロラ



アジアの地域に貢献するために

羽地 洋子
 卒業生の友人がいる私にとって、身近に感じられる沖繩キリスト教短期大学の創立40周年記念のお祝いに参加できて、嬉しく存じます。私と身体の不自由な仲間達は、記念講演を聞くために、在校生によるボランティアに支えられて参加しました。関係者のご配慮に感謝いたします。
 講師の高嶺豊さんは、私達の旧友です。これまでに高嶺さんから、ハワイやアジアの情報を得る機会が何度かありました。今回の講演

会では、統括されたお話しを聞くことができ大変有意義でした。氏がハワイ大学へ留学中に、経験した米国の障害者運動のこと、そして現在活躍中である、国連アジア太平洋経済委員会の障害者担当専門官として見聞した、アジアの障害者問題の報告がありました。
 特に、沖繩県がアジアの一員として、アジアに対し貢献すべきことの必要性を考えさせて下さいました。沖繩の歴史、地理的条件、あるいは、平和を希求し、共生の精神を持つ県民性の評価から、これが可能だということを示しました。
 高嶺さんが学んだ米国は、障害者運動の成果として、障害者法(A DA法)を持つ福祉先進国です。沖繩県が、アジアの地域に貢献するためには自らも学ぶ姿勢を持つという、有用な人材が多く必要でしょう。近々、四年制大学設立を計画している沖繩キリスト教短期大学にも、「社会福祉学科」を設置いただき、これからは、高嶺さんのような優れた人材を輩出されることを願ってやみません。

キリ短へ行き なくなる理由

島袋 国子
 「楽しいホーム・カミングの時にしたい」大城実委員長その一言に誘われて、創立40周年を祝う式典に友人と一緒に出席しました。なぜ、キリ短にこんなに心引かれるのだろうかと自問しながら...
 厳粛なムードの式典では、キリ短の歩みが語られました。(首里教会の一室を借りて始まった学院がここまで成長し続けられたこと等)その裏で、私達では想像もつかぬような献身的な多くの方々の強い意志と努力があった事を改めて知らされました。

又、特別講演会では、障害を乗り越えて国連で活躍しておられる高嶺豊さんの熱っぽいお話しを聞かせて頂き、同じキリ短の同窓生であることを大変誇りに思い、その努力に感銘を受けました。
 祝賀会は和やかな雰囲気でお世話になった先生方や職員の方に、本当に暖かく迎えられ、学生の頃と全く同じ、優しい眼差しで話かけて下さり、とても楽しい時を過ごしました。話をしている内に妙な素直な気持ちになり、心が浄化される様な快さを感じるから不思議です。以前、友人が言っていた「又、キリ短へ行きなくなる」その理由が判ったような気がしました。
 今、キリ短は大きなプロジェクトに取り組み、新たな歴史を築こうとしています。私達の大好きな、誇り高きキリ短が、いつまでも元気であるために、私達も同窓生の一人であることを自覚し、共に頑張る気持ちを忘れてはならないと考えさせられた一日でした。

記念特別講演会

アジア太平洋地域の一員として 一障害者への支援活動の視点から一 高嶺 豊

大城実先生の大変丁寧なご紹介を受けまして恐縮しております。今回、キリ短の卒業生として母校の40周年記念式典でこのようにお話しできることは大変光栄なことでもあります。私自身も大変うれしく思っています。

今日は、私のキリ短を卒業してあとのハワイでの経験と、それと、今紹介にあがりました、バンコクの国連での仕事を通じて感じたことをお話ししていきたいと思っております。

私は15期生で、今から25年前にこの大学で、古いキャンパスですけれども、そちらで勉強してまいりました。さきほど大城先生からもご紹介がありましたように、その当時から車イスでしたから、はたして、大学に受け入れてもらえるかどうか大変心配でして、それで、今日こちらにいらっしゃる、平良修(元)学長にお会いしまして、車イスでも受け入れが可能かどうかお伺いしました。そのとき、先生が躊躇なくぜひ入試を受けてほしい、それで、学校もできるだけ支援したいということで、アクセスの無いときでしたけれども、学校の方も大変決断が必要だったと思っておりますけれども、無事、入学試験も通って、勉強することができました。在学中、アクセスもそんなに無く、さきほどもお話でありましたように、学生のころの友人の支援を得て、あるいは、先生方の配慮を得て、どうにか2カ年英語を勉強することができました。

キリ短に入学を思い立つころは、私は3年間厚生施設に居りまして、その後の進路を模索していたころでした。あのとき、キリ短へ入学し、そこで平良修学長をはじめ、立派な先生方にお会いして、英語だけでなく様々なことを学ぶ



機会が与えられたことを大変うれしく思っています。そのことが、私の人生の大きな岐路となったことと今、確信しております。高等教育を受ける機会を制限されている人々に機会を与える、キリスト教短大の伝統的なこの教育方針をこれからもぜひ、継続していただきたいと思っております。

さて、もう一つ、平良修先生についての思い出なんですけれども、これは私がキリ短に入学する前のことで、今日の先生のプロフィールの中にもありましたけれども、1966年のアンガー高等弁務官の就任のときの祈祷の文をですね、新聞で読んだんですね。そのときはアメリカ軍の弁務官が最後の高等弁務官であることを祈るということで、沖縄のあのころの気持ちを訴えた祈祷だったと思っております。そして、その祈りの中に実はもう一つ私の心をとらえたフレーズがあるんですね。ここに原文がありますけれども、「神よ変えるべきものであることについて、それを変える勇気を私たちに与えてください。変えることのできないものについては、それを受け入れる冷静さを私たちに与えてください。変えるべきものと、変えることのできないものとを認識する知恵を私たちに与えてください。」ということで、これは、ニーバーという方の祈りの言葉らしいですけれども、この言葉が当時の沖縄の政治的な状況でどのような意味を持って



いたかということとは別に、私が個人として障害ということを考えるのに大変影響を受けた言葉です。“変えることのできないことを受け入れる冷静さ”とは私にとって障害を受け入れて生きていく、その決意と、障害があっても障害を口実にしないで自分の可能性を迫り上げていくということだと私は解釈しました。また、“変えるべきものであること”とは障害を持つ私を取り巻く社会を意味し、それを障害者にとって住みやすい社会に変えていくことだ、ということに私は解釈しました。私たちは変えることのできないことに固執するあまり、変えていくべ

きものが見えづにすることが多々あるのではないのでしょうか。この言葉は私のその後の生き方の道筋をつけた言葉だと思っています。当時の私の手記に、“障害を持つということは不幸なことではないが、それが理由で社会に受け入れられないことは悲しいことだ”と書いた記憶があります。

さて、私はキリ短を卒業して1974年にハワイ大学に入学をしました。私はハワイ大学入学当時は大学の学生寮に泊り、キャンパス内でもほとんど不自由なく車イスで動きました。この時不思議に思ったことは、同じ障害であって



も沖縄とハワイでの生活の自由さが違うな、ということでした。沖縄では車イスで使える一般の設備がほとんどありませんでしたので、補装具と松葉杖は手放せませんでした。しかし、ハワイでは大学の寮には車イス用のトイレがありシャワーも使えました。また、ほとんどの建物にはエレベーターがあり、人の手を煩わすこともほとんどありませんでした。この経験から私は障害者に関する問題は、個人の問題というよりも障害を持つ人を受け入れる社会の仕組みや体制に問題があるのではないか、という思いをますます強くしました。

さて、1970年代はアメリカの障害者運動の黎明期にあたります。私も入学して間もなく障害者問題の波に巻き込まれることになります。アメリカでは1973年に連邦政府の障害者リハビリテーション法の修正がなされました。特に、新たに追加された第504条は、連邦政府の資金援助を得ているプログラムや組織は、障害を理由に市民を差別してはならない。この条件に反した場合、連邦政府の補助金を打ち切ると定めていました。この画期的な修正が通り、州や市や大学のプログラムで障害者の受け入れのための点検や見直しが行われていました。また、この条項の施行規則作成のために公聴会が大学のキャンパス内で行われていまして、私も勝手



がわからないまま参加したりしました。このような周囲の熱い雰囲気の中で、私も障害者問題を勉強するようになりました。この公的な機関による障害者差別の禁止を謳った第504条は、障害者の権利の章典と呼ばれるようになりますが、1964年の公民権法を勝ち取ったアメリカの公民権運動の流れに沿ったものでした。この法律で、ようやく障害も人種や肌の色、性別、宗教や出身国による差別禁止条項の仲間入りを果たすことができたのです。

その後、私はそのころ始まった障害者の自立生活運動に直接関わるようになりました。この運動は1970年代にカリフォルニアのパークレーに自立生活センターができたことが発端です。アメリカでもそれまでは多くの障害者は施設の中で生活を送ることを余儀なくされていました。しかし、カリフォルニア大学パークレー校で学んでいた数人の重度障害者が中心になって地域で生活するために必要なサービス、例えば介助者の斡旋、あるいは障害者でも利用できるアパートの斡旋、電動車イスの修理、送迎サービス、あるいは障害者自身によるカウンセリングなどを提供するセンターをつくりました。そのおかげで重度の障害者でも施設を出て地域で生活することが可能になりました。このようなセンターが瞬く間に全米に広がりました。ハワイでも1970年代後半に、ハワイ自立生活センターが設立され、私は住宅カウンセラーとして大学院在学中からインターンとしてそこで働き、その後フルタイムで採用されました。(つづく)

(3回にわたり、高嶺氏の講演を掲載いたします。文責:編集部)

講師の紹介

英語科15期卒。ハワイ州立大で、心理学を専攻、同大学院で保健学及びソーシャルワークを学ぶ。現在、国連アジア太平洋経済社会委員会社会開発部障害者プロジェクト担当専門官。(在バンコク)

祝電

本日、学校法人沖縄キリスト教学院及び沖縄キリスト教短期大学の創立四十周年記念式典が盛大に挙行されますことを心からお祝い申し上げます。沖縄キリスト教短期大学が戦後の本県の高等教育とりわけ女性の高等教育の充実に多大な貢献をされ、国際的な人材の育成に努めてこられたことに対し、心から敬意を表します。本日の記念すべき式典を期に学校法人沖縄キリスト教学院及び沖縄キリスト教短期大学がますます発展されますよう祈念申し上げます。

平成9年4月6日
沖縄県知事 大田 昌秀



▲左より
大城 実(創立40周年記念実行委員長)、高嶺 豊(記念講演会講師)
David Iha(カワイコミュニティカレッジ学長)、原 喜美(学長)

祝辞/Dr. David Iha (カワイコミュニティカレッジ学長)

原学長、理事会の皆様、教授の皆様、また貴大学に関わりのある多くの方々と共に沖縄キリスト教短期大学の40周年を御祝いすることができまして大変嬉しく存じます。

私にとって沖縄に戻ることに、特に20世紀の初めにより良い生活を求めて沖縄を離れハワイに移住した私の両親の故郷に帰ることは大きな喜びであります。私は教育に熱心な両親の薦めにより私の生まれ故郷であるハワイを離れ、イリノイ州シカゴにあるウィートン大学で学びました。ウィートン大学は貴学と同じくキリスト教の牧師によって設立され、その建学の精神も「キリストとその神の国」ということでした。初めて貴学を訪問し、大城実先生にお会いした時、キリストに仕えるという共通の信念から、貴学との強いつながりを感じました。また沖縄に住んでいる私のいとこも貴学を卒業したということを知りました。原学長がハワイ大学のコミュニティーカレッジと姉妹校の協約を結ばれたことは、私達ハワイ大学の教授や学生達が国際的な経験の機会をもつことができるという意味で大変喜ばしい事です。私は今回沖縄キリスト教短期大学が提携している7つのコミュニティーカレッジを代表して貴学の40年間の成果を御祝い出来ることを光栄に思います。これからもグローバルな視点に基づいて貴学が益々、発展なさいますよう祈ります。

先日、ワシントンDCで行われた恒例の米国

教育協会の会議でクリントン大統領に面会する機会に恵まれ、大統領がいかに高等教育を熱心に重視されているかということを知り、大変嬉しく思いました。この会議では、国連総長もスピーカーとして参加しておられ、教育を通してのみ、平和を築き上げることができると主張されていました。貴学と同じくキリスト教の精神に基づいて創立されたハーバード大学の学長も出席されており、中国、日本、他のアジア諸国からの留学生を受け入れた経験をもとに、大学におけるグローバルな視野から物事を考えることの必要性を主張されておられました。

新しいことに挑戦する時はいつでも、不安がつきまといまいます。私の両親も沖縄を出発して新天地に向かう時には、多くの恐れを抱いたことでしょう。より良い生活を求めて新しいことに挑戦した両親の勇氣に感謝しています。沖縄に伝道に来られた我々の先輩方であるキリスト教指導者も様々な恐れを抱いたことでしょう。しかし 彼らはイエスキリストを信じることによってその恐れを克服したに違いありません。聖書箴言の29章25節を引用させていただきます。「人は恐怖の罫にかかる。主を信頼する者は高い所に置かれる。」我々の先輩であるキリスト教の指導者たちがイエスキリストを信じたようにこれからもこの偉大な沖縄キリスト教短期大学の基礎がイエスキリストの信仰に基づくものであることを願って私の祝辞と致します。(原文英語)

(学報41号より続く、その2)

幸いに、たくさんの友人がいますから、のんきに生活していますけども、そしてそういう時に私達が習っていくことは、聞くことです。人の言うことを聞くこと。人の言うことを聞くことは、その人のいいなりになるということでは決してなくてね、その人の言っていることを聞くこと。ですから、私はアメリカの中学校だの高等学校なんか話にいきますがね、何を話すかと言いますとね、だいたいにおいて日本は・・・という話をするんです。彼らが私語をしていると、私がピタッと話をやめる。「あなたの話していることが大事な事なら、私が聞こう。」そう言うと、クラスがコントロールできないことなどはありません。それで驚いたことに、先週日本の私立大学の教授達が東京に集まりましてね、どうしたら、私語をやめるとかという会議を開いているんですよ。冗談じゃないと思いましたがね。そんな会議を開く国がどこにありますか？

先生が教室に入ってきて、まだ講義中も話してるなんていったら、これは下の下ですね。私語を封じる会議を開く国なんていうのは、世界中探したってどこにもあるはずがないです。それを堂々と私語を封じる会議のことを友人から聞いて、あきれられるよりびっくりするより、なによりも実際嘆かわしいと思いました。ひとたび先生が教室・教壇に立ったら、これは城ですよ、国ですよ、領土ですよ。そして生徒は、言うべきなら、堂々と言うことです。

アメリカの幼稚園の教育の中に、“Show and Tell”の時間があります。子供達は、皆の前で、これは、何で、何に使って、そして僕はこれが大好きなんですというような話をするんです。

そのクラスに行きますと、石ころがきていたり、ある時は、生きた動物まで持ってきてね、皆に話します。アメリカの教育の一つの目的というのは、自分が自信を持って語れるという教育を3才くらいからしています。それは、私語じゃないんですよ。それは、自分の意見をちゃんとと言うということを、子供のときにする一つの方法なんです。それから、少し大きくなると、つまらない質問をするんです、アメリカの子は。そのつまらない質問に先生が丁寧に話しているのを見て、なるほど、こうやって自分の意見を言うことを習うんだなと思います。静かにしな

さい！ではないです。あなたの言う番がまだ来ていませんよ、それまで待ちなさいと教える小学校の先生方の教育を見まして、言わせる教育但し、いつでも言っている教育ではない。言わせる教育、話させる教育が、しかし、時を考える、その場を考えて言わせる教育をしているのを私は時々見えています。Indianapolisという中西部の田舎ですけれども、Democracyというのはね、なんにも選挙の時だけ Democracyじゃないんです。聴く事なんです。人の言う事を聞けない人は、Democracy だなんて言えないんですよ。まず聴く事、聴いて考えて自分の意見を持つ事、しかもそれが三才くらいからやっているんです。だから、ところ構わず喋っている大学生を見たらね、これは日本の国はおしまいですよ。悲しいと思う。相手の考えは、聞かなきゃ分かりません。聞いていれば相手を馬鹿にするような態度はできません。できる訳ないでしょ、聞くのですから。

聞くと言えば、面白い事があるんですよ。アフリカのザイールに宣教で行った人がね、行ったばかりですからね、習いたい一心でね。これ何ですかっていちいち指差して聞いていたんですよ。そしたらね、答えが全部同じなんですよ。どうして同じ言葉が返って来るのだろうと思ってね。そして、友人の宣教師に「どうしておんなじ言葉が返ってくるの？」と聞きましたらね。「そりゃ、あなたが『これ何ですか？』って言ったら、土地の人が『指です』って言ったのです。だから同じ言葉が全部返ってきたんです。」それで、第一日は大失敗をしました。

そりゃそうでしょうね。ザイール人はこうしてものを聞かないんですよ。指をこうやってものなんて聞かないのに、アメリカ人はこれ何ですか？って聞いてたから、指です、指です、指ですって返ってきたんです。じゃ、ザイールの人はどうやって聞くか。そこを考えなかったのです。どうやって聞くとお思いますか？下唇で聞くのです。それで一週間目にまず、唇を使って聞く事を習ったと言う話を同じ教派の宣教師から聞いて、よく分かりました私も。私達が知らないで、指ですと言うようなのを、聞いている時があるんですよ。

例えばね、日本の人が写真を撮る時、みんなピースをしますよね。あれ何だか御存じですか？初めはこれは、勝利の印だったの。今はこれは

異文化の中に生きて

名誉教授 前田伊都子

特別講演会(一九九六年十月八日)

平和の印ですね。日本でもそうでしょ、平和なんです。平和ということ言うためにこうするんです。ところがね、アメリカ人がどうして日本人は写真を撮るといふと必ずこうするのかって言うのです。私も知りませんがね。ひとつの癖でしょうねってアメリカ人が言いました。癖でもないでしょうけれども、写真撮られる時はこうするものと思ったのしょうね、子供の時から。ですけども、この表示はもう古い古い昔の印。今はしないんです。言葉も動作も表現も、実は生きてますから次々と移っていくんです。だから、千年一律のごとくこうしていかないんですよ。アメリカ人のように指です、指です、指ですをやってちゃいけないんですね。私達がまず、とらなければならないのは、学ぶ姿勢、聴く姿勢です。それが異文化に添っていく人間の一番大事な事です。

(次号へつづく)



1996年10月18日、本学チャペルにて前田伊都子先生の名誉教授称号記の授与式が行われた。前田先生は本学の創設期に約10年間にわたり教鞭をとられ、本短大の教育基礎造りに尽力された。その後ラテンアメリカに於いて教育・伝道活動をされ現在は次の住所にてご活躍です。

5413 Unity Trail Indianapolis, IN 46268 U.S.A

優勝 長浜 由美さん(英1年次)

毎日新聞社・毎日デーリーニュース・毎日ウィークリー主催の第51回全国学生英語弁論大会西部地区大会(6月21日北九州市で開催)で『Real Peace(真の平和とは)』と題して熱弁を奮い、見事一位に輝いた。

学内コンピュータ環境の大変革

～キャンパス・ランを中心に～

情報センター長 漢那 憲治

1996年7月22日にコンピュータ整備委員会が発足し、本学のコンピュータ整備計画についての討議が1997年3月24日までに9回開催された。その結果、最優先課題として、学術情報センターへの接続を96年度内に完了することにした。それに伴い図書館に新システムの総合情報管理パッケージソフト「情報館95」が導入された。これにより学術情報センターを中心とする全国の学術情報システムに参加することができた。

図書館と隣接した中二階の部屋を本短大の情報センターとして位置づけ、職員一人を配置し、情報サービスの拠点として、整備することになった。

今年度の事業として、コンピュータ教室の機器の新規取り替えと学内LAN(インターネット接続を含む)構築に取りかかった。

コンピュータ教室の2クラスに82台のCOMPAQ機種を設置した。ソフトも従来の一太郎とロータスからWordとExcelに切り替えた。情報リテラシー教育(情報の検索、収集、加工、生産、発信)が出来るように整備した。また、学生たちが自立・発展学習ができるように情報センター内にPC20台を収容する自習室を用意した。

さらに、教員研究室および事務局にも端末機が配置され、情報センターと接続された。

現在、この学内通信網(キャンパス・ラン)のシステムの完備に向けて情報センター職員と派遣専門職員が日夜奮闘している。このシステムと情報リテラシー教育が軌道にのれば、教職員も学生も自由にこのシステムを活用できるこ

国際交流について

学長 原 喜美

HAWAII PACIFIC UNIVERSITY (HPU) と本学とは、1997年2月14日、HPUの学長室において同学の Chatt Wright 学長と本学学長との間に姉妹校としての調印が交わされた。

HPUからDonalds.Gedeon副学長、OCJCからJames Ross 国際交流室長が陪席した。



HPUは、1965年創立され、1993年にHAWAII LOA COLLEGEと合併した、ハワイにおける有数の大学である。

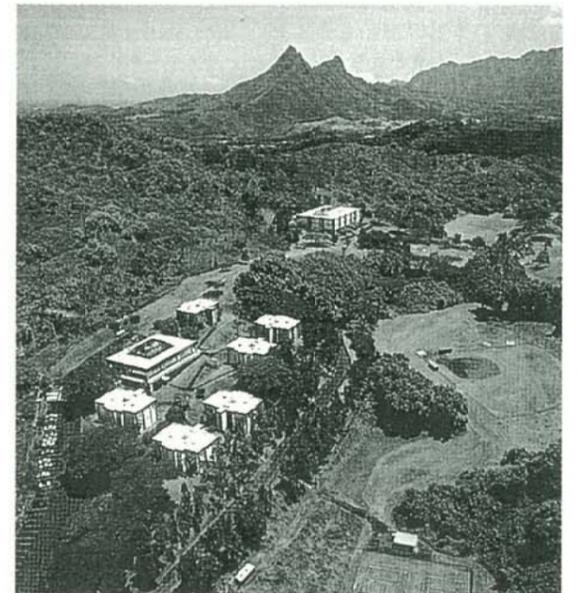
本学とは、大城前学長と漢那教授(当時の学生部長)がLOA COLLEGEを訪問され、非公式に友好関係が存在し、本学からは数名の卒業生が派遣された。33期卒の喜屋武優子は昨年夏HPUで国際関係学を専攻して優秀な成績で卒業した。現在は38期卒大城華が、同大学に在学中である。

とになる。

そのような環境を設定するために、情報ネットワーク管理運営委員会が設置され、検討を始めたところである。目下、学内LANを稼働させつつ、その運用の仕方を試運転中であるので、今しばらく様子を見る必要がある。後期からは自由に活用できるようにしたい。



HPUは、現在、学部生7,000名、大学院生1,000名、計8,000名の学生が、50州と85ヶ国から集っている。キャンパスは広大なWindward地域(下の写真)と、便利なDowntown(左の写真)に別れて、教養学部のみならず、経営学部も秀れていて、観光学、ビジネス、情報システム、コンピュータ科学、社会福祉、看護学、海洋学、海洋生物学、環境学などの21世紀を展望した学部が揃っている。第二外国語としての英語コースについても定評がある。LOAキャンパスと、市街のキャンパス間には30分置きに、シャトルバスが通って学生の便宜を計っている。



講演会のご案内(入場無料)

この度、日本における同時通訳者教育の第一人者である斎藤美津子先生を沖縄にお招きすることになりました。この国際化時代に異文化間の架け橋となる同時通訳に関心のおありになる方はぜひお越しください。

演題:「同時通訳の素晴らしさ」

同時通訳者によるデモンストレーションも行います。

講師:斎藤 美津子

(国際基督教大学名誉教授・同時通訳養成教育の先駆者)

通訳:宮田 耀彰・岡田 悦子・三寺 洋子

日時:1997年8月23日(土)午後3時~5時

会場:沖縄コンベンションセンター大会議室

主催:沖縄キリスト教短期大学

共催:沖縄コンベンションビューロー

お問い合わせ:英語科/前里・山里・桐山
(TEL.098-946-1235)

身体と心にも 思いやりの治療を



22期保育科卒 羽地 政江

「あなたは何かをもっていますね。」私が幼稚園教育実習中に受けた、保育科の照屋先生の言葉です。具体的に何を… “というわけでもなく、特に意識していなかった言葉が、卒業後随所で私の支えとなりました。私達は、人から誉められたり、認められたりした時、自分の存在の価値を実感し、自信につながるのではないかという思いがします。

卒業後5年間、私は東京にある「ナザレットの家」乳児院で保母として働きました。しかし、もっと子供達に出来ることはないか…豊かな人生を送るための手助けをしてあげたいと思い、歯科医になるため大学に再度チャレンジしました。仕事や大学で、失敗したり叱責され辛い時にもあの言葉は、落ち込んだ所からはい上がるエネルギーの素となりました。

現在は、那覇市仲井真で歯科医院を開院しています。子供達、そして歯科治療に恐怖心をもった大人達に、身体と心にも思いやりの治療を心がけて診療しています。開院当初からキリ短同期の友人達は、長く沖縄を離れていた私を後押ししてくれています。(青春時代に)キリ短で出会えた多くの先生方や友人達は、私にとってかけがえのないものです。

(かかず歯科医院 ☎098-831-9999)

がんばってます 我ら卒業生

このコーナーでは、地域や社会で活躍している卒業生を紹介しています。ご希望がありましたら、企画課へご一報下さい。

必死になって勉強した学生時代

キリ短スピリッツ



35期英語科卒 国井 真樹

私は、英語科の教職コースを卒業し、現在プロポーションアカデミーという痩身を専門とする会社で働いています。「教職」から「美容」へと全く異なる分野の仕事です。若輩であるにもかかわらず、現場の責任者(チーフインストラクター)として仕事をしている中で、様々な壁にぶつかり、自信を失って意気消沈する事が何度もあります。

そんな時に思いだすのは、キリ短時代の事です。キリ短のハードな教職コースに身を置く私は、睡眠を採るのもそこそこに、成績の良い他の学生に追いつく為に、必死になって勉強をしました。あの頃の私は、「もっと英語を理解できる様になりたい」という情熱に満ちて、毎日を過ごしていたのです。「何かを成し遂げる為に、自らを自らの情熱で燃やす」事をキリ短は私に学ばせてくれました。この経験が今の私を支え、やる気を奮い立たせてくれていると思います。

「キリ短スピリッツ」をいつまでも忘れずに、これからも前進して行こうと思います。

(プロポーションアカデミー沖縄 ☎098-866-3460)

仕事の動機はキリ短祭(泉&やよい)

32期保育科卒 泉 貴子・城間やよい



はいたい、ぐすうよー今日うがなびら。【泉&やよい】です。
やよい：私たちは、漫才、コントはもちろん、司会やお笑い等の娯楽を商売にしている2人です。
そもそも【泉&やよい】がこの仕事をするハメになったのは……

泉：ハメって何んねー。できるようになったのは、でしょ！
やよい：うるさいねーあんたは。だから、この仕事を始めたキッカケは、「キリ短祭」ですよ。2人でコントをやったねー。

泉：でも考えたら、このキリ短の校風が【泉&やよい】を作ったんだねって改めて思うね。

やよい：広い心で、すべてを受けとめてくれる、理解してくれる校風。だから、のびのびとやりたいことができたんだね。

バイタリティーあふれる我が沖縄キリスト教短期大学に乾杯!!

(泉&やよい 098-944-2580、893-6044)

新入生オリエンテーションキャンプ

1975年から毎年2泊3日の日程で、新入生のためのオリエンテーションキャンプを行っています。今年は436名の学生及び教職員が参加しました。

学生生活を豊かに



保育科1年次 島袋 太悟

キリ短に入って一ヶ月、学校にも慣れ、男子学生とは友達になれた。しかし、現役入学ではなかったことも影響して、なかなか女子学生の輪の中には入っていき、友達ができなかった。しかし、学生生活を楽しく有意義に過ごすためには、たくさん友人をつくる事が大切だと思い、キャンプでは勇気を出して、積極的にいろいろな事に参加した。渡嘉敷島の美しい山、青い海、大自然の中で行われたプログラムを通して、たくさん友人を作ることができた。

私は今回、キャンプリーダーの一員として新入生オリエンテーションキャンプに参加しました。渡嘉敷島の自然に触れながら学生・教職員との親睦を深め、本学で有意義に学ぶことを目的としたキリ短の伝統行事です。
新入生が充実した学生生活を過ごせるよう、私にも何かできる事はないかと思ひ、キャンプリーダーを希望しました。実際、準備や打合せに至るキャンプリーダーの仕事は大変でした。
しかし、新入生の「楽しかった」という声に励まされ、うれしかった気持ちも忘れられません。両科の学生と接したり、先生方と対等に向き合えたことから得るものは多く、貴重な経験となりました。キャンプを終えた今、キャンプリーダーをやった良かったと実感しています。また、一つのことを成功させる為、共にがんばってきた仲間感謝しています。どうもありがとうございます。

インタビュー



英語科1年次(社会人留学生) 金 正泰

○キャンプに行く前と現在の変化は？
私は一年前に韓国から沖縄に来て、日本語が上手ではないので、入学した時は友人があまりいませんでした。しかし、キャンプに参加して多くの友達と知り合いになりました。今では、講義で理解できない箇所を友人が教えてくれます。
○プログラムの中で特に印象に残ったのは？
ハイキングです。七・五キロの山道を学長先生や身体に障害を持つ学生も一緒に歩いたのでとても楽しかった。それからキャンプリーダーがいつも笑顔で新入生と接していたのはすごいと思った。一年次と二年次とでは大差があると感じた。
○金さんの学生生活の目標は？
英語の勉強を頑張ることです。それだけではなく、多くの友達と出会い、日本人の生き方を学びたい。沖縄の人はとても親切で、心にゆとりがあると思う。

キャンプリダーになって

保育科2年次 徳永 由起子



新任教員 自己紹介



ミヤクニ カオル コ
宮国 薫子 先生

私は今年4月1日より本短期大学において英語科専任講師として秘書学概論、商業英語、コンピューターリタラシーの教鞭をとることになりました。私は、首里高等学校、立教大学に学び、同大学よりワシントン・アンド・リー大学へ派遣留学の後シティコープ証券会社に営業のアシスタント及び株式のディーラーとして勤務、その後、南カリフォルニア大大学院で都市計画の修士号を取得後、日米の旅行会社、製造業社で営業担当、国際秘書として勤務してきました。幸いにも由緒ある沖縄キリスト教短期大学で奉職することになり光栄に思っております。

授業が始まってから一週間は、緊張の連続でしたが、教鞭をとることになって約2ヶ月、各授業の進め方における見通しがつき、学生の名前と顔が一致しはじめ、日に日に落ち着いて参りました。授業や教授会、月曜礼拝、

英語科講師
担当科目…コンピューターリタラシー、
コンピュータ、秘書学概論
商業英語、事務管理
趣味・特技…水泳、ピアノ

前期の大イベントである新入生オリエンテーションキャンプなどを通して、多くの方々と知り合うことができました。本学教授陣はどの方も立派な経歴をお持ちであるだけでなく、いつでも気軽に相談ができる雰囲気をもって、私を常に導いてくださいます。事務員の方々も様々な面でサポートして頂き安心しています。また学生は、元気で明るく、将来にむかって前向きに勉強している様子が見受けられ、学生から学ぶことも多々あります。

5月に120台の最新のコンピューターを導入、学内ネットワークの設置にともない、国際化・情報化の先端を行く沖縄キリスト教短期大学において恵まれた環境を生かし、本学が飛躍的な発展を遂げるよう私もできる限りの努力をしたいと存じます。

※同期会、クラス会の幹事の皆様へ

案内状の宛名書きは面倒で時間が掛かるものです。事務局企画課ではこの度「住所シール(宛名ペール)」の無料サービスを始めました。どうぞ、多いご利用ください。

ここに感謝をもってご報告させていただきます。(敬称略)

1997年1月～5月受付
(合計 15,824,027円)

創立40周年式典祝儀

| | | | |
|-------------|---------|---------------|--------|
| 高嶺 豊 | 100,000 | 呉屋 定子 | 10,000 |
| 琉球銀行 坂田支店 | 50,000 | 近畿日本ツーリスト沖縄 | 10,000 |
| 名城 和子 | 50,000 | 桐和空調設備 | 10,000 |
| 大成建設 | 50,000 | 許田商会 | 10,000 |
| 渡真利 源吉 | 30,000 | 球建設 | 10,000 |
| 仲里 明治・佐代子 | 30,000 | 喜名 洋子 | 10,000 |
| 沖縄国際大学 | 30,000 | 丸善 沖縄出張所 | 10,000 |
| 沖縄銀行 坂田支店 | 30,000 | 丸正印刷 | 10,000 |
| 比嘉 盛久 | 20,000 | 海銀リース | 10,000 |
| 大晋建設 | 20,000 | 花城 邦子 | 10,000 |
| 昭和レジデンス | 20,000 | 花城 安夫 | 10,000 |
| 首里教会 | 20,000 | 沖縄キリスト教センター | 10,000 |
| 胡屋バプテスト教会 | 20,000 | 沖縄瓦斯 | 10,000 |
| 宮城 妙子 | 20,000 | 沖縄明治乳業 | 10,000 |
| 紀伊屋書店 | 20,000 | 沖縄天久神の教会 | 10,000 |
| 外間 康之 | 20,000 | 沖縄県私立保育園連盟 | 10,000 |
| 沖縄海邦銀行 本店 | 20,000 | 沖縄環境科学研究所 | 10,000 |
| 安次富 順子(他2名) | 20,000 | 永井 淳裕 | 10,000 |
| 劇団みなみかぜ | 15,000 | 伊波 盛次郎 | 10,000 |
| ホームページサービス | 10,000 | 伊舎堂 守雄 | 10,000 |
| 洋販 沖縄支店 | 10,000 | 安田 未知子 | 10,000 |
| 与那城 勇 | 10,000 | 安座間 喜明 | 10,000 |
| 與儀 千代子 | 10,000 | 安座間 喜正 | 10,000 |
| 芳澤 弘和・江美子 | 10,000 | 愛隣園 | 10,000 |
| 平得 慶子 | 10,000 | 阿波根 弘子 | 10,000 |
| 百名 加奈江 | 10,000 | 大城 満子 | 10,000 |
| 比嘉 良光 | 10,000 | David Gray&恵子 | 10,000 |
| 比嘉 京子 | 10,000 | 35期 学生会 | 10,000 |
| 日本リウマチ友の会 | 10,000 | アウルズ 言語学院 | 5,000 |
| 那覇バプテスト教会 | 10,000 | 藤山 和恵 | 5,000 |
| 島袋 国子 | 10,000 | 仲本 景美 | 5,000 |
| 仲本 正真 | 10,000 | 仲盛 夫美子 | 5,000 |
| 仲村 實明 | 10,000 | 中部製糖 | 5,000 |
| 仲真 良哲 | 10,000 | 知念 芳子 | 5,000 |
| 仲真 文子 | 10,000 | 谷口 まゆみ | 5,000 |
| 中村 ふね | 10,000 | 大城 のぞみ | 5,000 |
| 中原 俊明・祥子 | 10,000 | 親慶原バプテスト教会 | 5,000 |
| 知念 一郎 | 10,000 | 真喜志 康則 | 5,000 |
| 知花 真康 | 10,000 | 新垣 慶子 | 5,000 |
| 大地事務用品店 | 10,000 | 上地教会 | 5,000 |
| 大森 泰夫 | 10,000 | 上地 雅広 | 5,000 |
| 大城 久美子 | 10,000 | 上江洲 基 | 5,000 |
| 大城 安隆 | 10,000 | 志真志伝道所 | 5,000 |
| 大山 伸子 | 10,000 | 国際ソロプチミスト沖縄 | 5,000 |
| 相愛幼稚園 | 10,000 | 琴の音保育園 | 5,000 |
| 石川 善英 | 10,000 | 荷川取優子 | 5,000 |
| 石川 一子 | 10,000 | 沖縄コロニー | 5,000 |
| 真喜志 淑子 | 10,000 | 沖縄海邦銀行 汀良支店 | 5,000 |
| 森 陽子 | 10,000 | 沖縄海邦銀行 西原支店 | 5,000 |
| 新川 右好 | 10,000 | 横田 久野 | 5,000 |
| 城間 緑 | 10,000 | 浦添市シルバー人材センター | 5,000 |
| 照屋 義正 | 10,000 | 稲嶺 さおり | 5,000 |
| 松島 寛容 | 10,000 | 伊佐 直美 | 5,000 |
| 山里 勝一 | 10,000 | おたけ保育園 | 5,000 |
| 山城 朝健 | 10,000 | 有銘 宏司 | 3,000 |
| 佐和田 幸子 | 10,000 | 沖縄アビー福音センター | 3,000 |
| 佐久本 真智子 | 10,000 | レイチエル・コンチェル | 1,000 |
| 国吉 洋子 | 10,000 | | |
| 国吉 守 | 10,000 | | |
| 光の子保育園 | 10,000 | | |
| 計1,412,000 | | | |

同窓生父母

| | | | |
|------------|---------|--------|--------|
| 宇座 徳 | 100,000 | 宮城 春信 | 10,000 |
| 嘉手納 殖一 | 100,000 | 照屋 朝紀 | 10,000 |
| 古波津 國子 | 100,000 | 仲宗根 正剛 | 10,000 |
| 又吉 盛保 | 100,000 | 大城 繁雄 | 10,000 |
| 川平 賢一 | 100,000 | 幸地 晃正 | 10,000 |
| 瀬底 正武 | 100,000 | 下地 直樹 | 10,000 |
| 仲里 良雄 | 100,000 | 仲宗根 典敬 | 10,000 |
| 仲原 弘 | 50,000 | 金城 則子 | 10,000 |
| 兼村 勝久 | 50,000 | 呉屋 正雄 | 10,000 |
| 国吉 守 | 50,000 | 谷 一三 | 10,000 |
| 大城 元臣 | 30,000 | 喜屋武 勇 | 10,000 |
| 武富 明夫 | 30,000 | 喜屋武 盛伸 | 10,000 |
| 比嘉 良正 | 30,000 | 天久 和之 | 10,000 |
| 喜納 吉博 | 20,000 | 照屋 清昌 | 10,000 |
| 山城 定雄 | 20,000 | 當眞 孝子 | 10,000 |
| 知名 孝明 | 20,000 | 大城 栄康 | 10,000 |
| 前城 静一 | 20,000 | 仲松 保雄 | 10,000 |
| 前城 文博 | 20,000 | 渡慶次 信子 | 10,000 |
| 阿部 新一 | 20,000 | 松川 淳行 | 10,000 |
| 大城 勲 | 20,000 | 前盛 民子 | 10,000 |
| 安田 未知子 | 20,000 | 神谷 源治 | 10,000 |
| 諸見里 安伴 | 20,000 | 中村 実 | 10,000 |
| 山内 昌盛 | 20,000 | 喜久村 敏夫 | 10,000 |
| 宮里 邦 | 10,000 | 具志堅 進 | 10,000 |
| 天願 博徳 | 10,000 | 大城 勝彦 | 10,000 |
| 安里 則夫 | 10,000 | 金城 壮兆 | 10,000 |
| 小川 肇 | 10,000 | 金城 英男 | 10,000 |
| 生盛 忠一 | 10,000 | 喜屋武 正一 | 10,000 |
| 比嘉 正男 | 10,000 | 豊原 豊 | 10,000 |
| 前原 信政 | 10,000 | 高良 朝健 | 10,000 |
| 山城 房子 | 10,000 | 城間 敏雄 | 10,000 |
| 城間 政男 | 10,000 | 屋比久 春子 | 10,000 |
| 玉城 国男 | 10,000 | 島 勇夫 | 10,000 |
| 宮城 幸雄 | 10,000 | 高松 潔子 | 10,000 |
| 上間 精次 | 10,000 | | |
| 仲村 起三郎 | 10,000 | | |
| 計1,610,000 | | | |

一般

| | |
|-------------|---------|
| 松島 寛容 | 270,000 |
| 藤田 忠 | 100,000 |
| 和田 新之助 | 50,000 |
| 北垣 宗治 | 10,000 |
| 皇立聖大学 阿部 公正 | 10,000 |
| 計440,000 | |

企業・団体

| | |
|------------|-----------|
| 豊見城中央病院 | 2,000,000 |
| 金秀グループ | 1,000,000 |
| 三協電気工事 | 30,000 |
| 昭和レジデンス | 30,000 |
| 丸正印刷 | 30,000 |
| 沖縄科学AVセンター | 20,000 |
| 計3,110,000 | |

パイプオルガンを贈るための献金

| | |
|----------|---------|
| 新川 右好 | 100,000 |
| 高江洲 園江 | 5,000 |
| 計105,000 | |

教会関係

| | |
|-------------------|---------|
| 大森 泰夫 | 300,000 |
| 仲宗根 重松 | 50,000 |
| 首里教会 | 30,000 |
| みつる保育園 | 30,000 |
| 船本 弘毅(代表) | 20,000 |
| ゴスペル幼稚園 | 20,000 |
| Dorothy L. Warner | 16,301 |
| 相愛幼稚園 | 10,000 |
| 読谷教会 | 10,000 |
| 西原教会 | 5,000 |
| 計491,301 | |

後援会

3,350,000

同窓会

101,737

同窓生

| | | | |
|-----------------|---------|-----------|--------|
| 3期 上地 武雄 | 200,000 | 39期 池ノ谷 歩 | 5,000 |
| 8期 Keiko Ovitiz | 40,000 | 伊禮 恵美子 | 5,000 |
| 13期 大仲 美知子 | 30,000 | 石川 真琴 | 5,000 |
| 16期 城間 枝都子 | 10,000 | 嘉数 綾 | 5,000 |
| 35期 瀬名波 美加 | 620 | 嘉数 奈津子 | 5,000 |
| 37期 前泊 美香 | 5,000 | 垣花 瑞穂 | 5,000 |
| 仲宗根 幸代 | 5,000 | 亀川 千香子 | 10,000 |
| 田場 広美 | 10,000 | 兼城 佐和子 | 5,000 |
| 多和田 美智子 | 5,000 | 川上 恵 | 5,000 |
| 神田 幸子 | 10,000 | 金城 静香 | 10,000 |
| 桃原 貴子 | 10,000 | 古謝 直美 | 5,000 |
| 38期 藤村 綾子 | 10,000 | 久田 佐友里 | 5,000 |
| 我那覇 志乃 | 5,000 | 喜屋武 つぐみ | 5,000 |
| 比嘉 美香 | 5,000 | 前田 理美子 | 5,000 |
| 比嘉 寿和子 | 5,000 | 真喜志 理恵 | 5,000 |
| 国吉 ともえ | 20,000 | 松田 亜希子 | 30,000 |
| 喜屋武 優子 | 5,000 | 松尾 知恵子 | 5,000 |
| 宮平 寿賀子 | 5,000 | 銘河 未美 | 5,000 |
| 宮里 さやか | 10,000 | 美里 奈々子 | 5,000 |
| 長浜 美鈴 | 10,000 | 宮城 亜由美 | 2,000 |
| 仲程 多恵子 | 5,000 | 宮城 亮 | 10,000 |
| 太田 由貴乃 | 10,000 | 宮城 遥子 | 5,000 |
| 新里 あかね | 5,000 | 宮平 江美子 | 20,000 |
| 新里 美香 | 105,000 | 森田 美沙 | 5,000 |
| 城間 里加 | 5,000 | 仲田 江利 | 10,000 |
| 城間 孝子 | 5,000 | 中村 良子 | 5,000 |
| 末吉 綾乃 | 10,000 | 仲村 良子 | 2,520 |
| 平良 江利 | 10,000 | 仲宗根 美香 | 5,000 |
| 高橋 茉莉子 | 10,000 | 中山 千恵 | 5,000 |
| 高良 夕子 | 5,000 | 仲里 三奈子 | 5,000 |
| 玉那覇 奈喜子 | 5,000 | 恩納 律子 | 5,000 |
| 友利 慶子 | 10,000 | 大城 悦美 | 10,000 |
| 當眞 泉 | 5,000 | 大城 勝恵 | 10,000 |
| 当銘 光子 | 10,000 | 大城 真希子 | 5,000 |
| 津多 みき子 | 5,000 | 大城 美奈子 | 5,000 |
| 上間 真樹子 | 20,000 | 大城 リ工 | 5,000 |
| 運天 真紀 | 5,000 | 大城 咲美 | 10,000 |
| 与儀 幸乃 | 5,000 | 大城 優貴 | 5,000 |
| 上間 寿賀子 | 5,000 | 佐久田 理恵 | 5,000 |
| 玉城 睦月子 | 10,000 | 瀬長 友美 | 5,000 |
| 我喜屋 真由美 | 10,000 | 島袋 久美子 | 5,000 |
| 金城 直美 | 10,000 | 新城 香代子 | 5,000 |
| 宮城 真喜子 | 5,000 | 砂川 有希子 | 1,000 |
| 宮里 千賀子 | 10,000 | 田場 祥子 | 5,000 |
| 宮里 美智子 | 20,000 | 平良直美セシリア | 5,000 |
| 高江洲 幸枝 | 10,000 | 高良 裕子 | 10,000 |
| 39期 安慶名 貴子 | 5,000 | 田村 美鈴 | 5,000 |
| 阿波根 晴美 | 5,000 | 樽古 和美 | 3,000 |
| 阿波根 尚子 | 5,000 | 天願 初音 | 5,000 |
| 新垣 彰子 | 5,000 | 照屋 敦子 | 10,000 |
| 新垣 可奈子 | 5,000 | 照屋 和代 | 5,000 |
| 後盛 末希子 | 5,000 | 宮里 奈津子 | 10,000 |
| 知念 寛美 | 5,000 | 富山 奈々江 | 5,000 |
| 知念 奈美江 | 5,000 | 津波 美登利 | 5,000 |
| 知念 さつき | 5,000 | 上地 智子 | 5,000 |
| 宜野座 真子 | 5,000 | 屋宜 愛乃 | 5,000 |
| 比嘉 まき子 | 5,000 | 山城 真由美 | 5,000 |
| 平安 利香 | 10,000 | 山城 美津子 | 5,000 |
| 外間 直美 | 5,000 | 鏡平名 里奈 | 5,000 |
| 伊波 和歌子 | 5,000 | 与那城 さくら | 10,000 |

同窓生

| | | | |
|------------|--------|------------|--------|
| 39期 福治 朝奈 | 10,000 | 39期 鮫島 真理亜 | 5,000 |
| 伊良波 友美 | 5,000 | 島袋 寛子 | 5,000 |
| 伊良波 由貴 | 5,000 | 島袋 香織 | 5,000 |
| 石川 静子 | 5,000 | 島袋 睦美 | 10,000 |
| 伊敷 江利奈 | 5,000 | 新里 陽子 | 5,000 |
| 小橋川 綾子 | 3,000 | 城間 麻美 | 10,000 |
| 米須 明香 | 5,000 | 砂川 美智子 | 5,000 |
| 久銘次 有紀 | 5,000 | 田場 美奈子 | 5,000 |
| 喜屋武 真真子 | 5,000 | 平良 涼子 | 1,000 |
| 又吉 敏 | 5,000 | 高良 恵理子 | 5,000 |
| 銘河 真紀 | 5,000 | 玉村 こそえ | 5,000 |
| 宮城 久美 | 5,000 | 照屋 茜 | 5,000 |
| 宮城 真紀子 | 5,000 | 當間 千博 | 10,000 |
| 宮崎 智恵美 | 10,000 | 上地 聡子 | 5,000 |
| 森田 美穂 | 5,000 | 上間 清香 | 5,000 |
| 仲地 千里 | 2,000 | 山城 いずみ | 5,000 |
| 中原 木綿子 | 5,000 | 与那城 幸代 | 3,000 |
| 仲宗根 さつき | 3,000 | 瑞慶寛 裕子 | 10,000 |
| 仲里 美香 | 5,000 | 40期 翁長 梨沙 | 1,979 |
| 檜原 三千代 | 5,000 | 41期 田里 彩 | 515 |
| 大嶺 小百合 | 10,000 | 社会人学生有志 | 51,453 |
| 大城 かおり | 5,000 | | |
| 大城 さくら | 10,000 | | |
| 計1,460,087 | | | |

学内関係者

| | | | |
|------------|-----------|--------|--------|
| 比嘉 國部 | 741,297 | 西銘 純子 | 30,000 |
| 原 喜美 | 1,110,000 | 下地 玄毅 | 20,000 |
| 稻福 盛輝 | 1,000,000 | 仲真 良哲 | 18,000 |
| 渡真利 源吉 | 200,000 | 与儀 勝彦 | 10,364 |
| 新垣 美智孔 | 150,000 | 與儀 千代子 | 10,000 |
| 山原 恵治 | 63,921 | 城間 勉 | 10,000 |
| 神里 博武 | 60,000 | 宮元 和子 | 6,000 |
| 比嘉 悦子 | 50,000 | 吉濱 幸子 | 5,000 |
| 大城 実 | 50,000 | 町田 妙子 | 5,000 |
| 大城 宣武 | 50,000 | 教職員有志 | 39,320 |
| 山里 恵子 | 45,000 | | |
| 前里 光盛 | 35,000 | | |
| 比嘉 健次郎 | 35,000 | | |
| 計3,743,902 | | | |

お詫び 学報41号に誤りがありました。下記のとおり訂正して、お詫び申し上げます。
P. 3 「楽しみながら学ぶ」の末尾
→に楽しく学生をやっている。
P. 7 アメリカ講演を終えて
→アメリカ公演を終えて

編集雑記

キャンパスのあちこちで真白なユリの花が可憐に咲きほこっていた。賛美歌『あめなるよろこび』で始まった4月6日の記念式典、あいにくの雨の中を多くの関係者がつめかけて下さり、喜びの日でした。卒業生の皆さん、これからも気軽に母校へ足を運んで下さい。多くの教職員が？年前のあなたの事をしっかりと覚えていますよ。(S.Y.)